

令和4年11月14日
たかつき保育園

保護者の皆様

感染症情報

園で、マイコプラズマ肺炎と診断を受けたお子さんがいます。朝夕は冷え込み日中は暖かかったりと寒暖の差が激しい季節です。免疫力が下がっているときにかかりやすいので、栄養や睡眠をしっかりととり、規則正しい生活を心がけましょう。

マイコプラズマ肺炎とは？

マイコプラズマ・ニューモニエという病原菌の感染によりおこります。

《潜伏期間》2～3週間

《感染経路》飛沫感染。咳でうつります。

《症状》・・・ゆっくりとした風邪症状で始まり、微熱程度で次第に咳込がひどくなる。まれに高熱のみで次第に咳が始まり徐々に激しくなり長引くこともあります。

《診断》・・・レントゲンと採血で診断がつかます。

《治療、予防》ワクチンの開発はありません。飛沫感染によって感染するため、咳エチケット（マスクの着用）や手洗いなど一般的な予防法が大切です。

《登園基準》「発熱や激しい咳が治まっていること」やその他の症状が落ち着

いてからの登園となります。

登園許可証（保護者が記入）が必要となりますので、登園する際には持参してください。

- ・他の症状がないのに咳だけがいつまでも続く場合は、医師の診察を受けましょう。
- ・ウイルス性の肺炎ではありませんが、うつりやすい病気です。

微熱でもねつがあつたり、咳込が激しい時は保育園を休みましょう。